

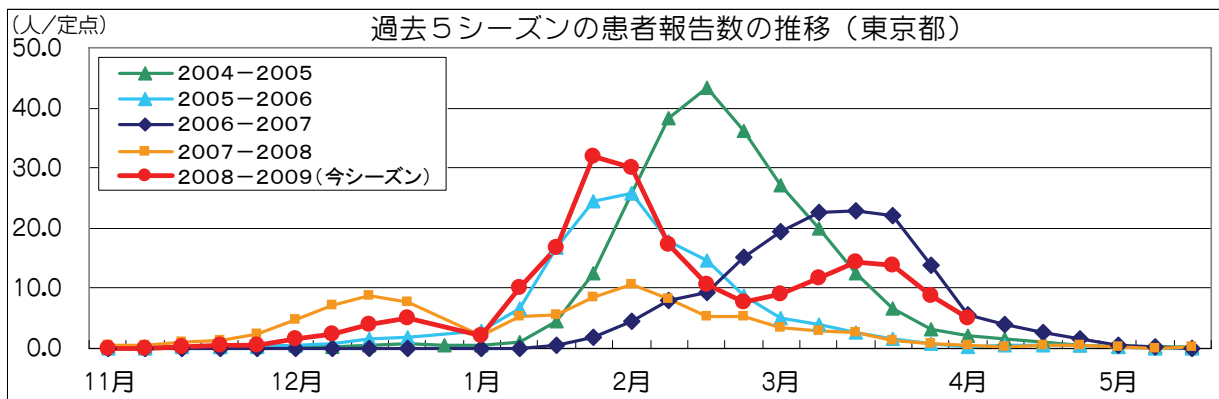
# 東京都 インフルエンザ情報

東京都健康安全研究センター

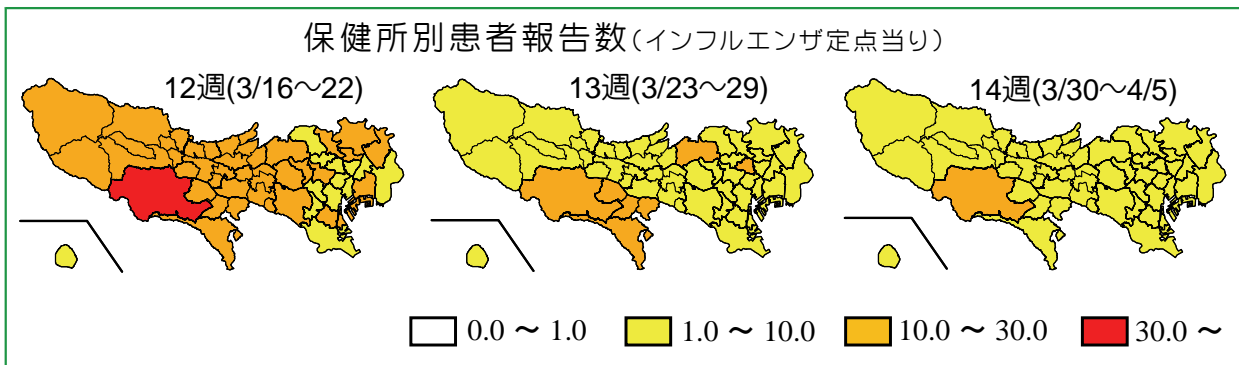
今号（第16号）のトピックス

- 第14週(3月30日～4月5日)のインフルエンザ患者報告数は 1,429人、  
定点当たり 4.98人（去年同期 121人、定点当たり 0.42人）
- 10県でインフルエンザ定点当たりの患者報告数が10人を超える
- 第14週(3月30日～4月5日)における東京都の流行規模は、全国で23位

## 流行状況



2004-2005シーズンに限り53週があります。



### 1 患者発生状況

インフルエンザ定点\*からの第14週(3月30日～4月5日)の患者報告数は東京都で 1,429人、定点当たり 4.98人です（去年同期 121人、0.42人）。定点当たり報告数は、第12週から3週続けて減少しています。

第14週における全国の患者報告数は29,130人、定点当たり 6.11人です。

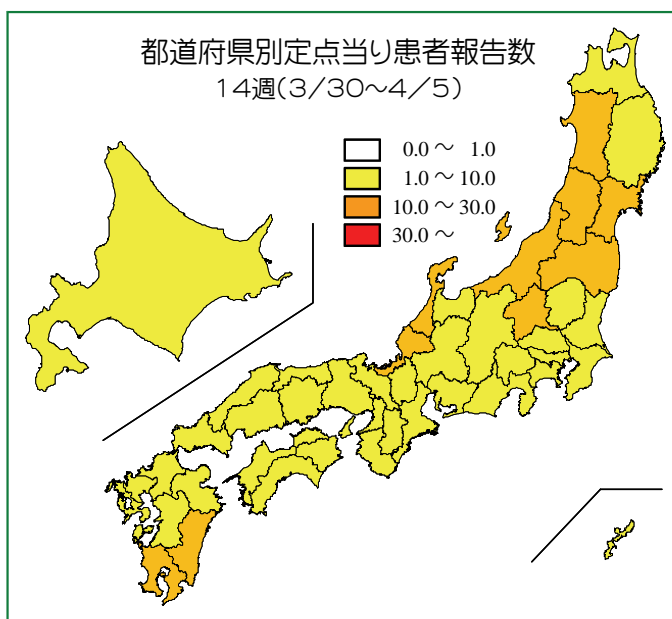
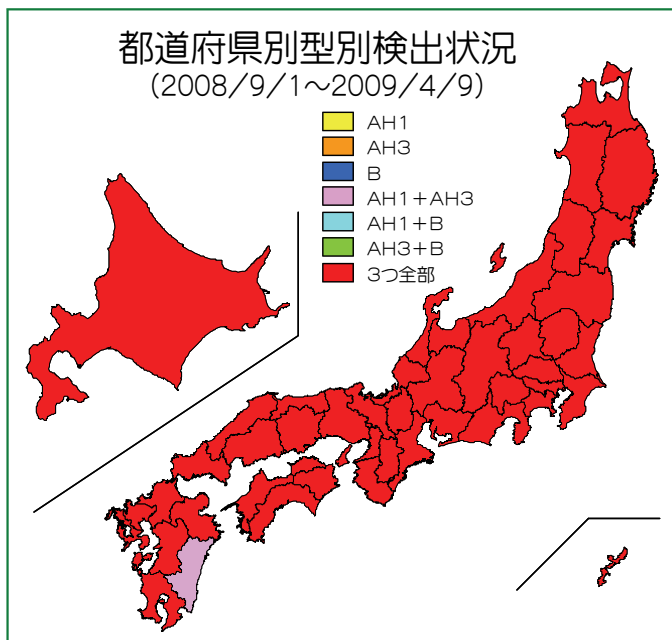
\*:インフルエンザ定点  
インフルエンザの流行状況を把握するために、東京都では小児科定点150か所を含む290か所（全国約5,000か所）の医療機関を「インフルエンザ定点」として指定しています。

表1. 定点医療機関から搬入された検体の検査結果

週	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス		
			AH1	AH3	B
36-10週 (9/1-3/8)	765	351	211	98	42
11週 (3/9-15)	43	23	5	1	17
12週 (3/16-22)	6	4	0	0	4
13週 (3/23-29)	15	8	0	0	8
14週 (3/30-4/5)	14	9	1	2	6
合計			217	101	77

表2. オセルタミビル(タミフル)耐性ウイルス株の検出状況

調査方法	A/H1N1分離株	耐性株
感染症発生動向調査	33	33
学級閉鎖等	20	20



## 2 東京都と全国の検査情報

(2008年9月以降)

4月5日までに、感染症発生動向調査事業により当センターに搬入された検体から、AH1亜型が217件、AH3亜型が101件、B型が77件PCR法により検出されています。

4月8日までに感染症発生動向調査事業等で当センターに搬入された検体から分離したインフルエンザウイルス(A/H1N1)53株について、オセルタミビル耐性遺伝子の解析を行ったところ、すべての株からオセルタミビル耐性遺伝子が検出されています。

国立感染症研究所発行の病原微生物検出情報(IASR)によると、4月9日までに、全都道府県からAH1亜型とAH3亜型が、46都道府県からB型が報告されています。

今回新たに、AH3亜型が長崎と宮崎の2県から、B型が青森、徳島、佐賀の3県から報告されました。

## 3 全国の流行状況

第14週(3月30日~4月5日)現在、新潟、石川、秋田をはじめとする10県がインフルエンザ定点当りの患者報告数10人を超える状況にあります。

東京(4.98人/定点)は全国で23番目になっています。

### ◆東京都インフルエンザ情報◆

編集・発行

東京都健康安全研究センター  
微生物部疫学情報室

〒169-0073

東京都新宿区百人町3-24-1

TEL: 03-3363-3213

FAX: 03-5332-7365

S0000786@section.metro.tokyo.jp

http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/